

令和3年 木曾建設事務所 おもなできごと

当所における令和3年の「おもなできごと」について、次のとおり御案内します。

記録的豪雨による災害と復旧工事に向けた取組

○ 5月豪雨、8月前線豪雨による公共土木施設の被災と復旧工事に向けた取組

5月20日から21日にかけて管内すべての観測所で日雨量80mm超の雨量を観測。南木曾水位観測所では氾濫危険水位を超過し、管内9箇所が公共土木施設が被災しました。また、8月12日から15日には、前線豪雨により、管内5観測地点で8月の日雨量が観測史上1位を記録し、管内3箇所の水位局で氾濫危険水位を超過。木曾管内で県100箇所、町村12箇所の公共土木施設が被災し、10月から12月にかけて4週にわたり災害査定が行われ、復旧費が確定しました。



地域交通確保に向けた取組

○ 国道19号と木曾川右岸道路のアクセス道路 大桑村の村道長野殿線が一部開通

国道19号と木曾川右岸道路のアクセス道路として、平成28年度から大桑村に代わって県が整備を進めてきた村道長野殿線の大桑～殿工区が、12月に村施工の大桑橋の完成に合わせ、一部開通しました。

また、12月4日には村の主催で大桑橋の渡橋式が開催されました。



○ 姥神峠道路（延伸）工区の令和3年度新規事業化決定

平成24年度から一時休止となっていた、地域高規格道路「伊那木曾連絡道路『姥神峠道路（延伸）』」について、近年の国道361号の利用状況や豪雨災害の状況などから必要性が認められ、新規事業化が3月に決定しました。

令和3年度は、現地の測量や設計等を精力的に進めており、引き続き、一日も早い完成供用を目指します。



防災・減災、安全対策に向けた取組

○ 砂防堰堤新設工事 2 箇所が竣工

平成 22 年度に南木曾町岩戸沢で新規事業化し、整備を進めていた岩戸沢砂防堰堤の新設工事が 3 月に竣工。5 月 29 日に完成式を開催しました。

また、平成 30 年 7 月の土石流で床下浸水被害が発生した木祖村杣沢で施工していた杣沢砂防堰堤の新設工事が 3 月に竣工し、7 月 21 日に完成式を開催しました。



【木祖村 杣沢砂防堰堤】

○ 静岡県熱海市土石流災害を受けた盛土の緊急点検実施

静岡県熱海市において 7 月に発生した土石流災害を受けて、管内町村と連携し、盛土の流出による土砂災害のおそれのある 28 箇所の点検を 8 月に実施しました。

これまでのところ流出防止対策などの是正措置が必要な箇所は確認されておりません。



○ 千葉県八街市通学児童死傷事故を受けた通学路の緊急合同点検実施

千葉県八街市において、下校中の小学生の列に大型トラックが突っ込み、児童 5 人が死傷するという、痛ましい事故を受けて、通学路の安全点検が県下一斉に行われました。

木曾建設事務所管内では 7 月に町村教育委員会、警察、道路管理者（国、県、町村）の合同で実施し、その結果、ハード対策が必要な 5 箇所とソフト対策が必要な 7 箇所を確認。今後、通学路の安全性を向上させるため、必要な対策を進めてまいります。



○ 国道 361 号姥神トンネルの照明を LED 化

国道 361 号の姥神トンネルにおいて、老朽化していたトンネル照明を 12 月に更新しました。ナトリウムランプから LED ランプへと変更したことにより、視認性が改善されるとともに、照明の寿命が 10 倍程度延び、また電力消費量の大幅な縮減を図ることができました。



建設人材育成のための取組

○ 木曾青峰高等学校で現場研修を実施

建設業の将来を担う若手技術者の育成・就労促進のため、長野県建設業協会木曾支部との共催により木曾青峰高等学校の生徒を対象に測量・丁張設置、CAD、刈払機の各研修を5月から10月にかけて計4回、実施しました。



○ 中学生の大工体験授業の実施

長野県建設労働組合連合会と協働し、8月から10月にかけて開田中学校、日義中学校及び南木曾中学校の計3校で1年生を対象とした木工体験授業を実施しました。

木造建築に関する講義を受講後、地元の大工技能士から鉋（かんな）や鋸（のこぎり）の扱い方の手ほどきを受け、椅子づくり等の実習を行いました。生徒たちはプロの技に目を見張り、真剣な眼差しで取り組んでいました。



地域住民との連携

○ 道路河川愛護活動知事表彰

道路や河川の環境美化などに貢献した団体として、河川愛護活動の取組を実施している王滝村の住民グループ「野口区王滝川愛護会」が3月に知事表彰されました。



○ 建設業協会木曾支部 道路敷伐採草取ボランティア作業

長野県建設業協会木曾支部が県道の法面や路側の環境整備ボランティア活動を7月に実施しました。ボランティアには協会の会員18社22人が参加し、国道256号南木曾町吾妻と木曾福島駅前の坂道で、枝払いや草取を行いました。



観光振興に向けた取組

○ 国道 361 号木曾町開田高原に「矢羽根」を設置

長野県では、自転車で信州を一筆書きできる「Japan Alps Cycling Road」プロジェクトの取組みを進めており、快適で魅力あるサイクルツーリズムのための環境整備を実施しています。今年度、木曾管内では初めてとなる自転車の通行位置を示す矢羽根形のマークを木曾町開田高原の国道 361 号で約 3 km に渡り、路面標示しました。



治水 ONE
NAGANO

～みんなできりくむ『流域治水』～

©長野県アルクマ
長野県 PR キャラクター「アルクマ」

長野県は『流域治水』を推進しています！



Youtube で動
画配信中！

長野県 木曾建設事務所 総務課
(次長)太田 晃生 (担当)木下 泰一
電話：0264-25-2237 (直通)
FAX：0264-22-4028
E-mail：kisoken-somu@pref.nagano.lg.jp



木曾建設事務所
ホームページ